

プラスチック問題と私たちの未来

深刻さを増す海洋プラスチック問題、海洋プラスチックごみの量は極めて膨大であり、世界全体では、毎年約800万トンのプラスチックごみが海洋に流出しているとの報告があります。また、この報告では、このままでは2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えるとの試算もしています。(環境省 HP より)

これまで日本がプラスチックごみを輸出していたアジア諸国の廃棄物輸入規制強化などを背景に、2022年4月1日「プラスチック資源循環法」が施行されました。環境問題、資源循環を考える上では避けて通れない、プラスチック問題、今後のプラスチックの資源循環のあり方考えるセミナーを開催致します。

【実施概要】

- ・開催日 : 2023年8月31日(木) 14:00~16:30
- ・受付 : 13:00~ ・開会 : 14:00~

*プラスチックの資源循環促進、プラスチックごみを減らす取組みなどの展示を受付開始時より開会までご覧いただけます、また途中休憩時にもご覧いただけます。

- ・会場 : メルパルク名古屋 2階 平安の間
- ・参加費 : 無料 ・募集定員 : 150名

《講演》

テーマ: 「プラスチック資源循環を巡る社会の変化、それぞれに求められること」

講師: 枝廣淳子氏(大学院大学至善館教授、(株)未来創造部代表取締役社長、幸せ経済社会研究所所長、有限会社イズ代表取締役)

プロフィール

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。『不都合な真実』(アル・ゴア氏著)の翻訳をはじめ、環境・エネルギー問題に関する講演、執筆、企業のCSRコンサルティングや異業種勉強会等の活動を通じて、地球環境の現状や国内外の動きを発信。持続可能な未来に向けて新しい経済や社会のあり方、幸福度、レジリエンス(しなやかな強さ)を高めるための考え方や事例を研究。「伝えること」で変化を創り、「つながり」と「対話」でしなやかに強く、幸せな未来の共創をめざす。



《事例報告》

1. 株式会社折兼 営業企画部 広報SDGs課 課長 服部 貞典氏(名古屋市)

地球にも使い手にもやさしく 環境にやさしい素材に機能性をプラスしたエコパッケージ、植物原料100%からつくられた生分解性食品容器

2. 日本生活協同組合連合会 ブランド戦略本部サステナビリティ戦略室

サステナビリティ戦略担当 設楽 良昌氏(東京都)

コープ商品のプラスチック使用量の削減の取組み、容器包装への再生プラスチック・植物由来プラスチックを使用した商品の拡大

★プラスチックに替わる新しい素材、資源循環、減量の取組み等の紹介展示

主催:生活協同組合コープあいち・(一社)循環資源再生利用ネットワーク

★SDGs 「夏季セミナー2023」参加お申込み方法

URL、QRコードを読込の上、申込みフォームにご記入後送信下さい

お申込フォーム URL: <https://forms.gle/SXfVY1D8BDeWrjzq7>

SDGs 「夏季セミナー2023」参加申込書

開催日 : 2023年8月31日(木) 14:00~16:30

会場 : メルパルク名古屋 2階 平安の間

申込み締切日 : 8月18日(金)



個人情報の取り扱い方針

記載していただいた個人情報は、本セミナーの申込の受付、ご案内、アンケートのご依頼、以外には使用しません。ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもしません。取得した個人情報は管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施いたします。

ホテルメルパルク名古屋 交通アクセス

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 3-16-16

電車をご利用の方

地下鉄東山線千種駅1番出口より徒歩約1分

地下鉄桜通線車道駅より徒歩約5分

お車をご利用の方 駐車場 160台完備(有料)

お車で越しの方は、セミナー受付にて駐車サービス券をお渡しします



お問合せ先 (一社)循環資源再生利用ネットワーク

Gmail:shigensaisei.net2003@gmail.com